



平成30年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月10日

上場会社名 株式会社クレステック 上場取引所 東
 コード番号 7812 URL http://www.crestec.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高林 彰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 三輪 雅人 TEL 053-435-3553
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年6月期第1四半期の連結業績（平成29年7月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第1四半期	4,106	17.1	192	28.2	183	21.0	124	34.3
29年6月期第1四半期	3,506	△13.3	150	245.7	151	359.6	92	—

(注) 包括利益 30年6月期第1四半期 208百万円 (198.9%) 29年6月期第1四半期 69百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第1四半期	40.51	—
29年6月期第1四半期	30.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年6月期第1四半期	13,005	4,063	26.5	1,125.02
29年6月期	12,322	3,879	26.7	1,084.34

(参考) 自己資本 30年6月期第1四半期 3,452百万円 29年6月期 3,294百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期	—	13.00	—	24.00	37.00
30年6月期	—	—	—	—	—
30年6月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年6月期の連結業績予想（平成29年7月1日～平成30年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	10.9	755	9.4	666	△6.7	326	△11.3	107.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年6月期1Q	3,248,900株	29年6月期	3,248,900株
② 期末自己株式数	30年6月期1Q	180,426株	29年6月期	210,726株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年6月期1Q	3,068,474株	29年6月期1Q	3,038,270株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用環境が引き続き堅調であるなど、緩やかな景気回復基調が続いております。しかし、世界情勢が不安定な状況下、米国の経済政策も未だ不確定要素が多く、輸出企業などでは、まだ先行き不透明な状況となっております。

一方、世界経済においては、米国経済が引き続き堅調に推移しており、欧州でも緩やかな改善傾向にあります。また、中国では経済に対する懸念が後退傾向であります。環境対策などが重しとなり景気回復への遅れが継続、東南アジアにおいても引き続き成長が鈍化した状態となっております。こうした経済状況のもと、当社グループの主要顧客である日系メーカーでは、輸送機器・情報機器や一部家電製品などの分野で全般的に新製品の開発も含め概ね堅調でした。また、外資系メーカーでは医薬品分野が引き続き堅調に推移しましたが、生活家電など一部では生産拠点の移管なども影響し、本格的な稼働にはまだ時間を要する状況でした。

このような経済状況のもとで、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,106,919千円（前年同期比17.1%増）、営業利益は192,776千円（前年同期比28.2%増）、経常利益は183,002千円（前年同期比21.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は124,303千円（前年同期比34.3%増）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

① 日本

輸送機器メーカーの業績は引き続き安定しており、当社との取引も堅調でした。情報機器メーカーやインフラ系メーカーにおいても、当社との取引は引き続き堅調な動きでした。また、今期より子会社化した大野印刷株式会社では現在、経営改善に向けた様々な取り組みを行っています。

このような状況のもとで、日本では、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,058,745千円（前年同期比3.8%増）、セグメント利益は4,366千円（前年同期比87.2%減）となりました。

② 中国地域

華南地区では、東南アジアへの生産移管が日系メーカーに限らず、外資系メーカーでも進んでいること、また材料費の高騰などもあり非常に厳しい状況が続いており、市場の動きに合わせた組織体制の再構築に着手しております。一方、華東地区では医薬品関連が引き続き堅調であり、さらに輸送機器関連の取引も順調に拡大しており、増収傾向となりました。

このような状況のもとで、中国では、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は979,050千円（前年同期比19.1%増）、セグメント利益は6,498千円（前年同期比61.9%減）となりました。

③ 東南アジア地域

フィリピンやベトナムでは、引き続き情報機器メーカー中心に生産量は安定しており、当社との取引も堅調に推移しました。また、タイでも一部家電製品では生産量が安定し取引も引き続き堅調でした。一方でインドネシアでは輸出型製造業の生産や新規投資が引き続き停滞しており、当社との取引も低調でしたが、外資系大手食品メーカーの中国華南地区からの生産移管や新規顧客拡大などもあり、徐々に取引が増加しています。

このような状況のもとで、東南アジアでは、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,737,722千円（前年同期比26.8%増）、セグメント利益は152,607千円（前年同期比288.0%増）となりました。

④ 欧米地域

米国ではメインである輸送機器メーカーとの取引は、米国経済の牽引もあり引き続き堅調でした。欧州では翻訳業務の停滞はあるもののメインである輸送機器メーカーやゲーム機器メーカーとの取引が安定的に推移しました。

このような状況のもとで、欧米では、当第1四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は331,401千円（前年同期比13.2%増）、セグメント利益は34,252千円（前年同期比49.7%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は9,071,963千円となり、前連結会計年度末に比べ152,555千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が119,269千円、受取手形及び売掛金が239,854千円、仕掛品が114,963増加いたしました。また、短期貸付金が740,106千円減少したことによるものであります。なお、短期貸付金の減少のうち740,000千円につきましては、平成29年7月1日付で株式交換により完全子会社となった大野印刷株式会社への貸付金であり、連結子会社化に伴う減少であります。

固定資産は3,933,482千円となり、前連結会計年度末に比べ835,169千円増加いたしました。これは主に有形固定資産が718,794千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は13,005,446千円となり、前連結会計年度末に比べ682,614千円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は6,245,240千円となり、前連結会計年度末に比べ699,866千円増加いたしました。これは主に短期借入金が546,327千円増加したことによるものであります。

固定負債は2,696,858千円となり、前連結会計年度末に比べ201,591千円減少いたしました。これは主に長期借入金が218,956千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は8,942,099千円となり、前連結会計年度末に比べ498,274千円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は4,063,346千円となり、前連結会計年度末に比べ184,340千円増加いたしました。これは主に利益剰余金が51,387千円、為替換算調整勘定が54,860千円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の連結業績予測につきましては、平成29年8月10日の「平成29年6月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,305,897	3,425,167
受取手形及び売掛金	2,803,049	3,042,904
商品及び製品	1,011,177	1,090,340
仕掛品	482,984	597,948
原材料及び貯蔵品	258,252	308,486
繰延税金資産	170,371	165,404
短期貸付金	741,419	1,313
その他	456,300	445,721
貸倒引当金	△4,935	△5,321
流動資産合計	9,224,518	9,071,963
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	552,597	725,936
機械装置及び運搬具（純額）	1,259,474	1,447,986
工具、器具及び備品（純額）	126,451	131,876
土地	213,305	564,823
有形固定資産合計	2,151,829	2,870,623
無形固定資産		
のれん	—	66,428
その他	139,015	144,712
無形固定資産合計	139,015	211,140
投資その他の資産		
投資有価証券	86,760	87,726
退職給付に係る資産	77,637	90,465
繰延税金資産	341,928	371,107
その他	306,526	307,804
貸倒引当金	△5,385	△5,385
投資その他の資産合計	807,468	851,718
固定資産合計	3,098,313	3,933,482
資産合計	12,322,831	13,005,446

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,266,991	1,295,462
短期借入金	2,212,620	2,758,947
1年内返済予定の長期借入金	1,288,158	1,327,330
リース債務	56,978	53,264
未払法人税等	129,373	73,501
賞与引当金	93,664	143,651
未払金	433,331	508,174
その他	64,256	84,907
流動負債合計	5,545,374	6,245,240
固定負債		
長期借入金	2,535,340	2,316,384
リース債務	63,159	55,583
役員退職慰労引当金	53,876	55,748
退職給付に係る負債	245,929	268,995
その他	144	147
固定負債合計	2,898,450	2,696,858
負債合計	8,443,825	8,942,099
純資産の部		
株主資本		
資本金	215,400	215,400
資本剰余金	140,400	166,427
利益剰余金	3,265,889	3,317,276
自己株式	△159,660	△136,723
株主資本合計	3,462,029	3,562,381
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	892	1,241
為替換算調整勘定	△120,389	△65,529
退職給付に係る調整累計額	△48,128	△46,003
その他の包括利益累計額合計	△167,625	△110,291
非支配株主持分	584,602	611,256
純資産合計	3,879,006	4,063,346
負債純資産合計	12,322,831	13,005,446

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,506,061	4,106,919
売上原価	2,615,829	3,077,430
売上総利益	890,231	1,029,488
販売費及び一般管理費		
役員報酬	12,165	11,190
給料	284,636	327,419
賞与引当金繰入額	20,946	21,031
役員退職慰労引当金繰入額	1,924	1,871
退職給付費用	13,080	12,825
貸倒引当金繰入額	153	333
減価償却費	20,435	22,921
のれん償却額	—	1,703
賃借料	63,186	64,561
研究開発費	8,859	12,211
その他	314,480	360,643
販売費及び一般管理費合計	739,868	836,712
営業利益	150,362	192,776
営業外収益		
受取利息	2,142	2,245
作業くず売却益	7,516	10,191
助成金収入	14,312	1,653
その他	4,498	8,371
営業外収益合計	28,470	22,461
営業外費用		
支払利息	24,926	28,171
その他	2,605	4,064
営業外費用合計	27,531	32,235
経常利益	151,300	183,002
特別利益		
固定資産売却益	9,086	4,150
特別利益合計	9,086	4,150
特別損失		
固定資産除却損	4,867	75
特別損失合計	4,867	75
税金等調整前四半期純利益	155,518	187,077
法人税、住民税及び事業税	64,314	50,810
法人税等調整額	△11,613	2,099
法人税等合計	52,700	52,909
四半期純利益	102,818	134,167
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,252	9,863
親会社株主に帰属する四半期純利益	92,565	124,303

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日）
四半期純利益	102,818	134,167
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,262	348
為替換算調整勘定	△35,806	71,650
退職給付に係る調整額	1,414	2,125
その他の包括利益合計	△33,129	74,124
四半期包括利益	69,688	208,291
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,650	181,637
非支配株主に係る四半期包括利益	38	26,654

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国地域	東南アジア 地域	欧米地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,020,428	822,157	1,370,657	292,817	3,506,061	—	3,506,061
セグメント間の内部 売上高又は振替高	111,164	34,565	6,857	60,999	213,587	△213,587	—
計	1,131,593	856,723	1,377,515	353,816	3,719,648	△213,587	3,506,061
セグメント利益	34,097	17,066	39,331	68,145	158,639	△8,277	150,362

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国地域	東南アジア 地域	欧米地域	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,058,745	979,050	1,737,722	331,401	4,106,919	—	4,106,919
セグメント間の内部 売上高又は振替高	124,726	43,488	11,079	31,188	210,482	△210,482	—
計	1,183,471	1,022,538	1,748,801	362,590	4,317,401	△210,482	4,106,919
セグメント利益	4,366	6,498	152,607	34,252	197,724	△4,948	192,776

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(のれんの金額の重要な変動)「日本」において、平成29年7月1日付で大野印刷株式会社の全株式を株式交換により取得したこと
により、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの発生額は68百万円であります。